



あと一步の向上に向けた取組

函館市立鱒川小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- (1) 鱒川タイム（補充学習）の実施
- (2) 個別指導計画の作成
- (3) 「家庭学習の手引き」を用いた家庭学習の推進

2 取組の概要

- (1) 鱒川タイム～基礎力増強のために、スパイラル型の学習を実施

算数

限定された時間での成果を実現するため、教科を限定

実態調査

昨年の学力テストから基礎的な問題に絞って調査し、学習内容を数個に限定

木曜日：隔週程度 40分間

帰りの会と清掃を短時間で行い、委員会と同ワクとし、委員会のない日に行う放課後と合わせて実施。インターネットで公開されている学習プリントなどを使用

- (2) 個別指導計画の作成～個別指導の充実を図って、全児童を対象に実施

学習面・生活面

個別指導のために、両面とも長期目標、短期目標設定

実態把握

日常実態、学力個別実態調査、CRT、全国学力学習状況調査

日常 年4回

日常的に観察し、記録。年4回、前期（小1～4年）、中期（小5～中1）、後期（中2，3）あるいは、小学校部会、中学校部会で検討し、全校で交流

- (3) 「家庭学習の手引き」作成～家庭学習の意義と方法について理解を図り、見とりにより定着化

3 成果（○）と課題（●）

- 補充した学習内容を補強できたり、成長を一定期間に確認しつつ新たな課題づくりにつなげることができたり、家庭学習の取り組み児童が増えたりしている。
- もっと改善できる点が明らかになってきており、次年度は、さらに充実したい。家庭学習は、全ての子の定着化に向けさらに細やかな設定をしていきたい。

中学校からの教科指導やT Tの乗り入れ、小学校間での教科担当を構成。

- ・複式学級の算数科において、単体学年の学年別指導を実施、
- ・複数教科において専門性を強化。
- ・T Tにより、個別指導の強化。